

NBMS

ネットワーク型放送監視システム



オペレーターは、Barco のネットワーク型放送監視システム (NBMS) を使用することで、施設のどこでも、または施設外のどこからでも、ブロードキャスト処理を監視し、ビデオをリアルタイムに可視化できます。

この革新的ソリューションにより、個別のコントロール・ルーム内であっても、インターネット・プロトコル (IP) 網を介した高品質、低遅延のビデオソースおよびメタデータをマルチ画面に配信することができ、その結果、放送・放映モニタリングに対し究極的な柔軟性が生まれます。このように Barco のネットワーク型放送監視システムの機能は従来のマルチビューワを超え、企業全体の監視に及びます。

Barco のネットワーク型放送監視システムを選ぶ理由

- 必要なコンテンツを施設のどこでも監視および可視化します。
- 離れ場所から必要なソースを簡単に監視できます。
- 高いコスト効果で、システムの入力と出力のタイプや個数を自由に拡張できます。
- デスクトップ PC からビデオウォールに、ディスプレイ上のコンテンツを表示します。
- サムネイルからフル HD サイズまで、任意のソース・フォーマットを可視化します。

Barco の NBMS ソリューションは、次から構成されます。

- リアプロジェクション・モジュールまたは LCD パネル 高品質: シングル・スクリーンは、複数のソースを関連メタデータ、オーディオ・メタリング情報、コンピュータ・アプリケーションと合わせて同時に表示する能力があります。2 つ以上のモジュールを巨大なディスプレイ・ウォールに組み合わせて数百の信号を監視できます。
- ネットワーク型ハードウェア・プラットフォームは、ソース・キャプチャリング装置、相互接続 IP ネットワーク、およびディスプレイ発生装置から構成されます。すべてのコンポーネントは、標準ラックに取り付け可能なシャーシで設計されています。
- ソフトウェア・パッケージ NBMS は、完全なシステム・コントロールを可能とし、あらゆるシステム・ネットワーク接続からアクセスできます。

施設内のどこからでもコンテンツにアクセス オペレーターはバルコのネットワーク型放送監視システムを使用することでブロードキャスト処理を監視し、放送施設のどこからでもビデオ・コンテンツをリアルタイムに可視化できます。NBMS の分散アーキテクチャにより、一度キャプチャされたビデオを必要に応じて場所を選ばず、何回でも配信・表示することができます。

離れ場所からでも監視が可能 バルコのネットワーク型放送監視システムを使用すると、ソースが従来のマルチキャスト IP ネットワーク上でストリーミングされるため、距離はもう問題ではありません。また、NBMS は、スタジオ、ブロードキャスト、ヘッドエンド、リモート通信局をリモート監視したり、バックアップ・サイトやフォローザサン・コントロール・センターでのオペレーションを活用したりできる可能性を生み出しました。

フレキシビリティを損なわない拡張性 入力や出力の数には制限がありません。ソースやディスプレイを追加したり、構成を変更したりする場合にも、配線をし直す必要がありません。

どのようなディスプレイにもソースを表示 NBMS は、ソースの表示が必要な場所へのフレキシビリティを備えています。小型の PC ワークステーションから大型ビデオウォールまで、ディスプレイの種類によらず、スケールされたコンテンツをきめ細かく表示することができます。

PC 上で監視 可視化ネットワーク上で使用できるエンコードしたビデオ・ソースがあれば、強力な PC または専用の J2K デコーダー・カードが装備されている PC で、ビューア (Windows Media Player など) を使用して、高画質で低遅延のビデオ・コンテンツを簡単に表示できます。

スマートにレイアウト作成 NBMS は、種類が豊富な、事前に設定されたレイアウト・テンプレートを活用するため、オペレーターはレイアウトを作成するにも、時間が省けてさらに効率的にできます。また、ビデオ・ディスプレイット、UMD、タリー、オーディオバーなどを組み合わせて 1 つのビューにして、好みに合わせてアレンジすると、自分だけのテンプレートを作成することができます。